

近畿大学②

給水スポット活用による 安心・安全なまちづくり

～おおさかWater大作戦～

2025.12/20(土)

目次

01

チーム紹介

p.3-4

02

中間発表会まで

p.5-15

03

給水スポットの調査・分析

p.16-30

04

提案内容

p.31-39

05

まとめ

p.40-47



01

チーム紹介

~About Our Team~

01. チーム紹介

近畿大学②

近畿大学 総合社会学部 総合社会学科
環境・まちづくり系専攻3年 藤田香研究室



「副首都・大阪PRキャラクター にゃにわ福まる」

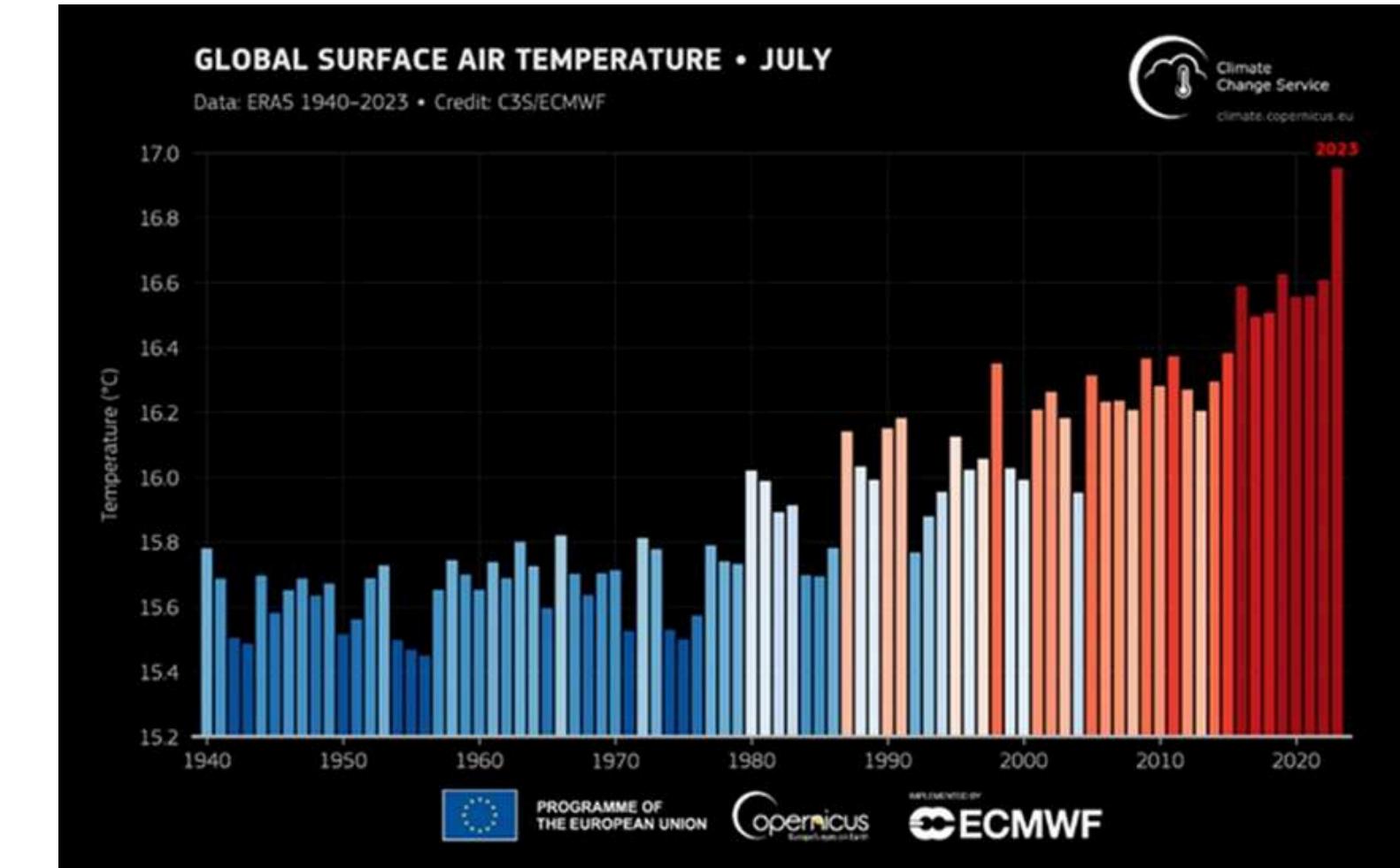
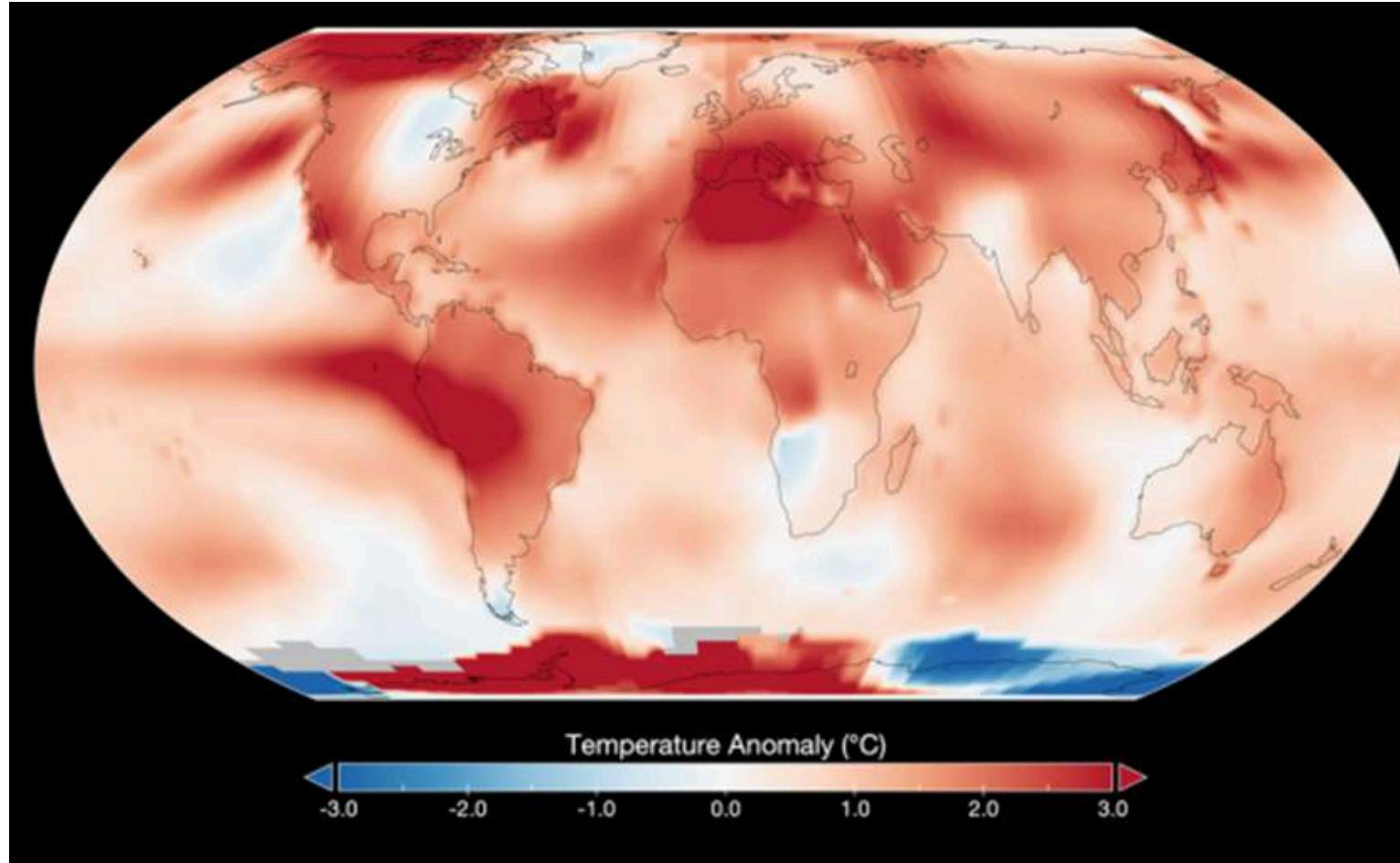
02

中間発表会まで

~Until the Midterm Presentation~

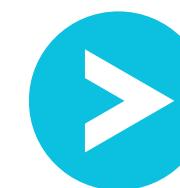
02-1. 研究の背景

「地球温暖化の時代は終わった。地球沸騰化の時代が到来した。」
(アントニオ・グテーレス国連事務総長(2023))

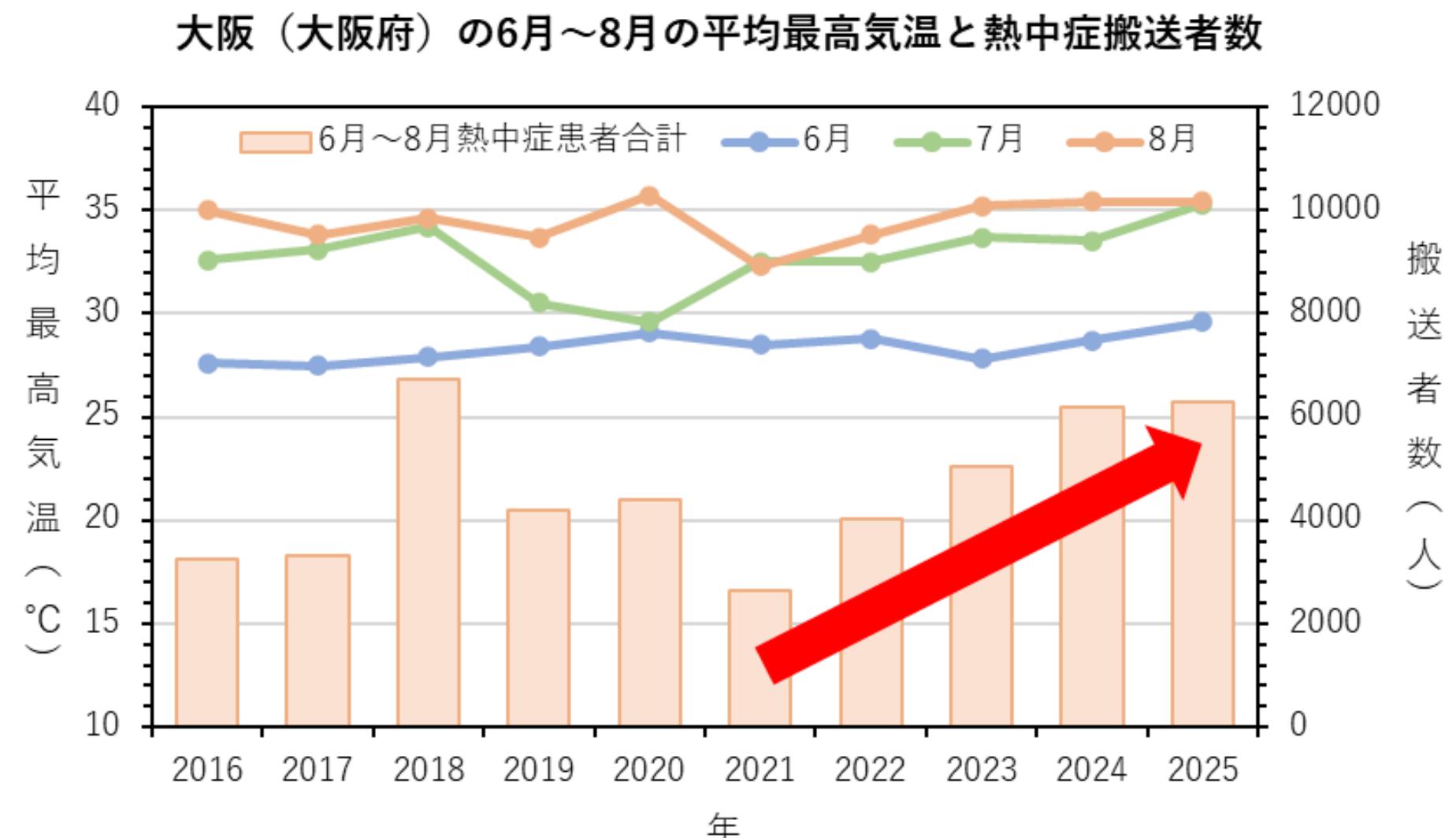


※国連広報センター「地球沸騰化の時代」の気候アクションより

02-1. 研究の背景



暑さが社会問題化



※気象庁「過去の気象データ(大阪府)」、総務省消防局「熱中症情報」を基に作成
期間は直近10年間、気象庁が夏と定義している6月～8月を抽出している

平均最高気温(直近10年間)

6月: +2.0°C
7月: +2.7°C
8月: +0.4°C

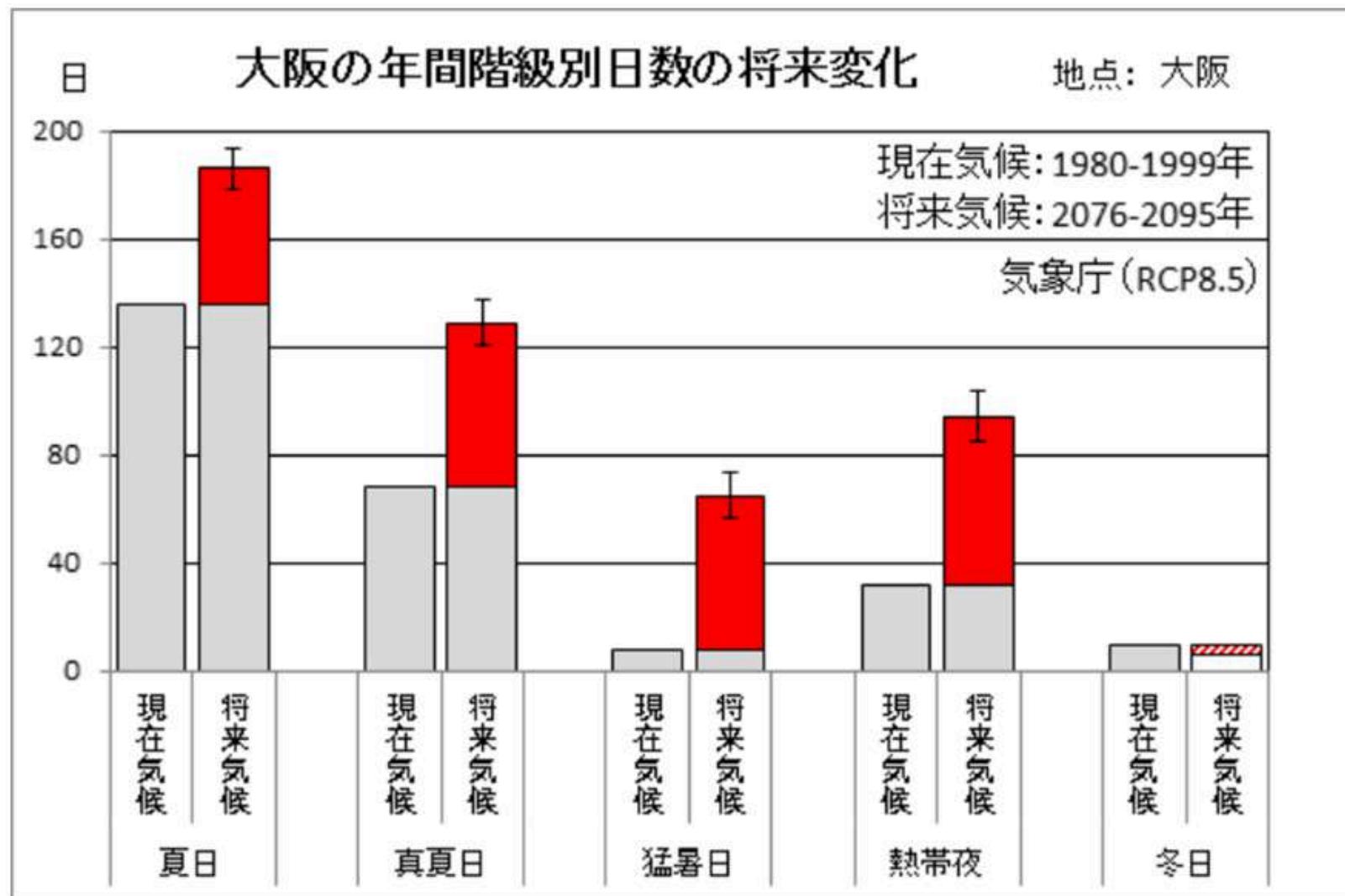
熱中症搬送者数

▶ 2021年以降増加傾向

▶ 今後も搬送者数が増加する

02-1. 研究の背景

将来的には120日以上が真夏日、60日以上が猛暑日に



- ▶ 屋外行動の危険性UP
- ▶ 水分補給の重要性UP

※おおさか気候変動適応センター「大阪の将来の気候変化～21世紀末の猛暑日等の予測グラフ～」より
気象庁が予測した、大阪の猛暑日等の年間日数のRCP8.5に基づく将来変化を示している

02-2. 副首都ビジョンとのかかわり



02-3. 適応策(水分補給)の課題

- ・誰でもどこでも無料で利用できる水分補給の場である
「給水スポット」があれば…
 - 暮らしやすさにつながる
 - 安心・安全なまちにつながる
 - **都市の魅力・安全性の向上**
- ・世界と日本(他都市)の状況
- ・大阪府下の給水スポットの現状と課題
大阪市と東大阪市ならびに大阪・関西万博会場の取り組みについて
予備調査を実施

02-4. 世界の給水スポット

「給水スポット」は、世界の大都市で新しいビジネスモデルを生み出しつつある

事例:一般社団法人 Social Innovation Japan (mymizu)

「給水で、世界を変えよう」

- 50か国、20万か所以上、日本国内でも1万4000ヶ所以上の給水スポット情報を提供
- 飲食店、オフィスやジム、薬局、ホテルなど様々な業種が登録(自治体(名古屋市など)も)
- マイボトル文化が根付く海外からの観光客は、日本でマイボトルに給水できる場所を探すのに苦労
- 第8回グッドライフアワード 環境大臣賞 NPO・任意団体部門(環境省)

※<https://www.mymizu.co/>ならびに環境省ウェブサイトより

02-5. 中間発表会(9/27)でのアドバイス

01

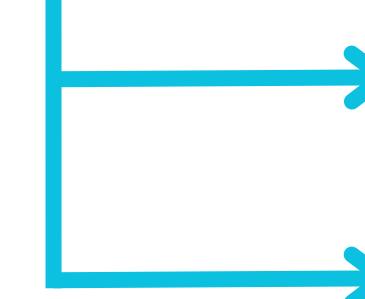
現状把握から給水スポットをめぐる問題をどのように展開するか

02

マイボトルの環境負荷について

03

給水スポット候補の提案



大阪府内＆近畿大学内の候補地の選定

阪大マイボトル推進プロジェクト Carry My Bottle



「副首都・大阪PRキャラクター にゃにわ福まる」

02-6. マイボトルの環境負荷について

CO2の排出量削減に大きく貢献できる

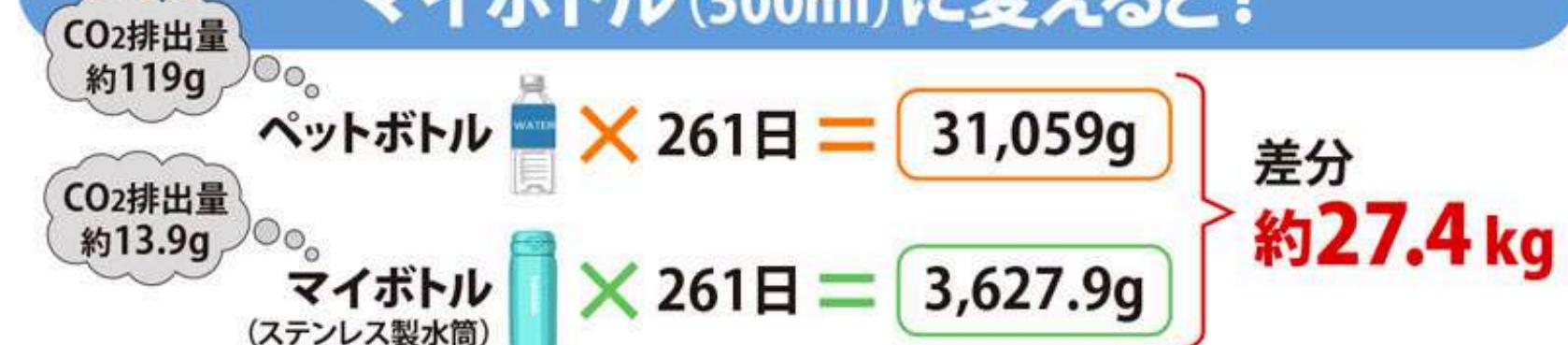
ペットボトル(500ml)とステンレス製水筒(500ml)を
製造・廃棄・リサイクルする際のCO₂排出量



*／耐熱用ペットボトル業界平均。製造プロセスのCO₂排出量は、原油の調達から飲料の充填までを考慮。小売への輸送及び小売から家庭への輸送過程は考慮していません

出典／環境省「リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について」(平成23年4月)

週5でペットボトル飲料(500ml)を買っていた人が、
マイボトル(500ml)に変えると?



1年に削減できる
CO₂の量は…

差分
約27.4 kg

CO₂ 1kg = 1,000本

※体積換算

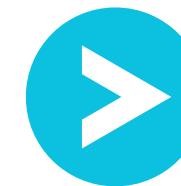


試算の前提条件:1本のペットボトル(500ml)の製造(※)・廃棄・リサイクルにかかるCO₂排出量=119g(耐熱用ペットボトル業界平均)／ステンレス製水筒(500ml)を100回使う場合の1回あたりの排出量=13.9g／週5日=年間約261日 ※小売への輸送及び小売から家庭への輸送過程のCO₂排出量は考慮していません

出典／環境省「リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について」(平成23年4月)

※ウェザーニュース「マイボトルを繰り返し使うと、どれだけCO₂排出量を削減できる?」より

02-7. マイボトルの利用率について



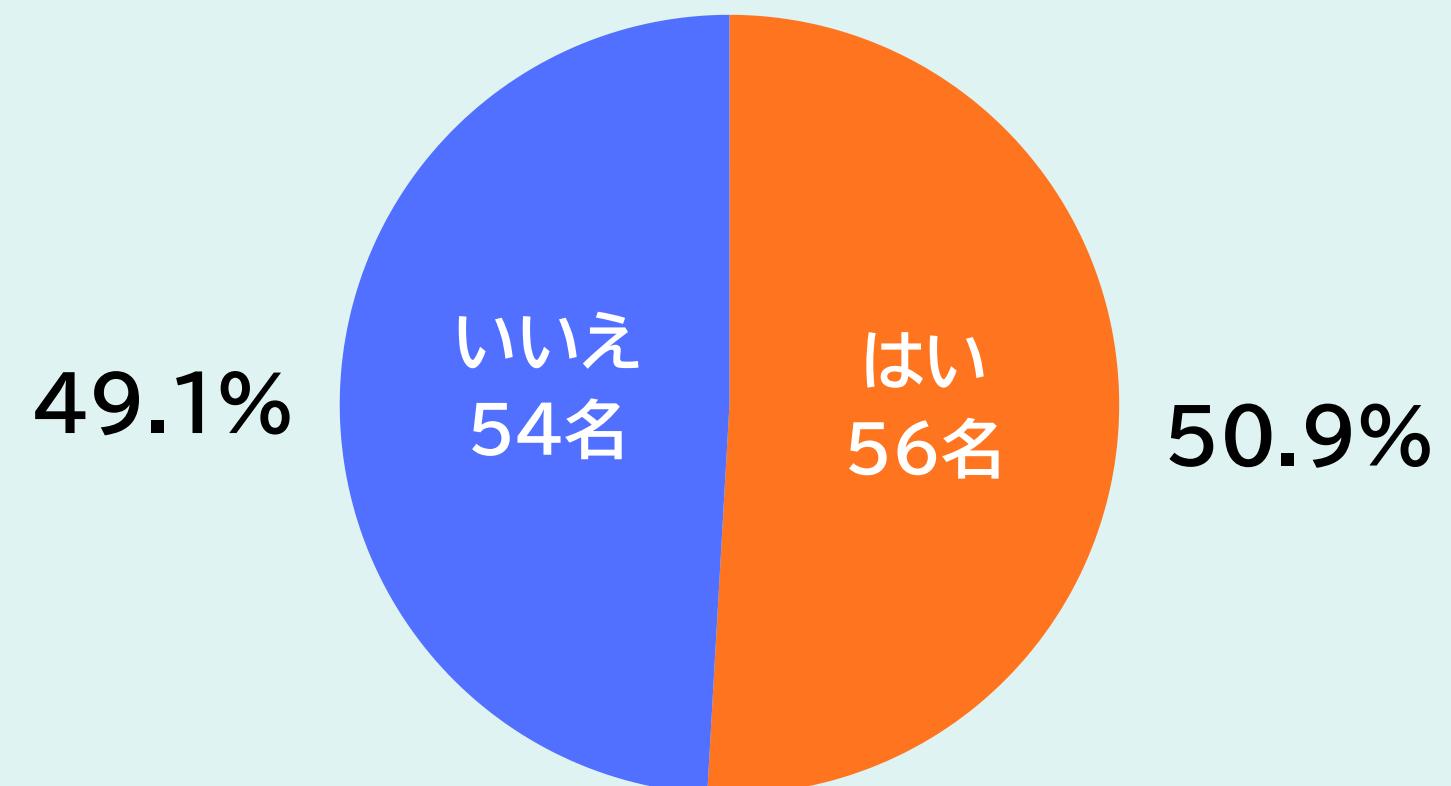
アンケート調査結果

対象者: 近畿大学の学生および大学院生(18歳~28歳)、110名

実施期間: 令和7年11月25日~12月3日

マイボトル(水筒)を普段から持っていますか？

理由



【はい】

- ・ペットボトルがもったいない
- ・夏は冷たい状態で保存できる
- ・節約・エコのため
- ・お金がかかる

【いいえ】

- ・重くて荷物になり邪魔
- ・洗うのが面倒

02-8. 阪大マイボトル推進プロジェクト Carry My Bottle

阪大マイボトル推進プロジェクト Carry My Bottle(おおさかマイボトルパートナーズメンバー)

- ・**基本理念**：地球にも市民にもやさしい生活を、マイボトルで
- ・**活動モデル**：給水機設置 + マイボトル利用促進
→ 暮らしやすく、ペットボトルを使わない生活の実現
- ・**設置場所**：豊中キャンパス(1)、吹田キャンパス(2)(うち2台:生協)



	飲料製造	容器製造	販売利用	廃棄・リサイクル	合計
店舗販売のPET飲料消費	500mL飲料水の国内製造 130.50		店舗冷蔵販売 82.2	リサイクル効果 -11.7	200.8
自販機販売のPET飲料消費	500mL飲料水の国内製造 130.50		自販機冷蔵販売 127.0	リサイクル効果 -11.7	245.8
自宅給水でのマイボトル利用	水道水を 浄水器で給水 0.48	マイボトル 2.94	マイボトルの 洗浄 0.072	マイボトルの 焼却処分 0.54	4.04
給水機給水でのマイボトル利用	給水機から 給水 5.63	マイボトル 2.94	マイボトルの 洗浄 0.072	マイボトルの 焼却処分 0.54	9.33

(土屋,2013)を参照 マイボトルは購入から300回利用後に廃棄すると仮定

全て単位は g-CO₂/500mL

※阪大マイボトル推進プロジェクト Carry My Bottle「なぜマイボトル?」より



03

給水スポットの調査・分析

~Survey and Analysis of Water Supply Spots~

03-1. 研究目的・研究方法



給水スポット活用を安心・安全なまちづくりにつなげるための課題とその解決策について考えること

01

文献調査

02

行政データ・資料収集・分析

03

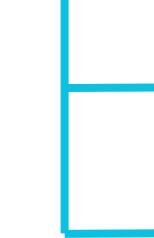
踏査調査

04

量的調査(アンケート調査)

05

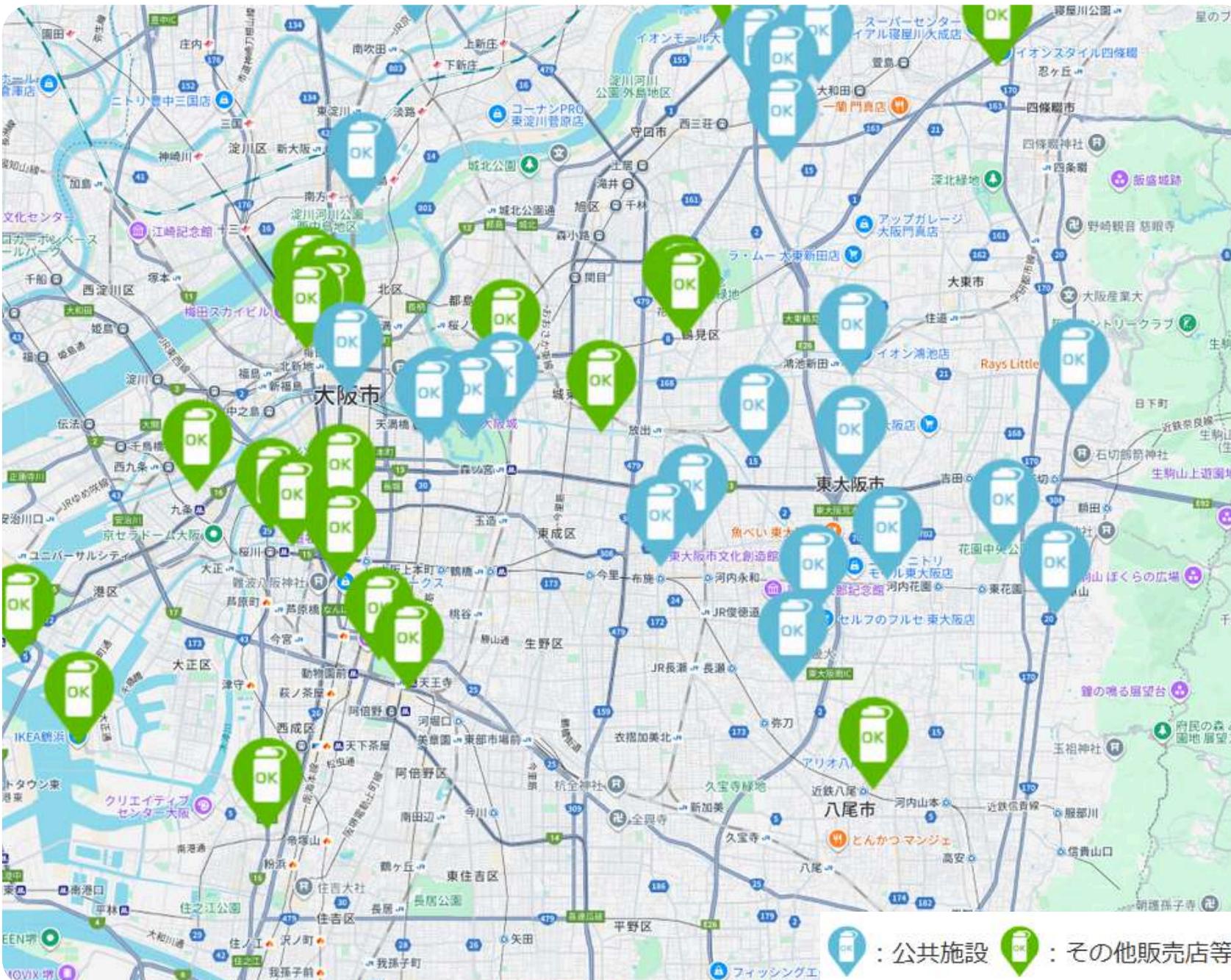
質的調査(半構造化分析)



行政・事業者・教育機関

産学官民によるパートナーシップ団体

03-2. 大阪市内・東大阪市内の給水スポットの現状



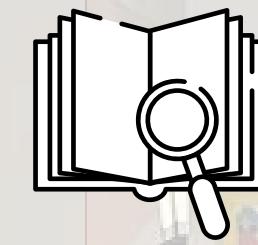
▶ 大阪市の中心部

▶ 東大阪市内の公共施設



03-3. 調査した給水スポット





調査の結果

— As a result of the investigation —



良い点

- ・冷たい水が出る
- ・簡単に利用できる
- ・デザインが魅力的
- ・外国人の利用あり



悪い点

- ・ボトルが濡れる
- ・案内がない・不十分
- ・外国人は使い方に戸惑う
- ・観光客はマイボトルを持っているのか

03-4. 大阪・関西万博の給水スポット

2025年4月13日～10月13日(184日間)



※株式会社OSGコーポレーション「大阪・関西万博会場OSG給水スポットサイト」より

- ▶ 1日あたりの使用回数: およそ65,500回
- ▶ およそ2.4人に1人が利用

03-5. 大阪府の取り組み

▶ 質的調査(聞き取り調査): 行政 大阪府環境農林水産部

Osakaほかさんマップ

<https://www.osaka-hokasan.jp/>



- ・マイ容器・マイボトルを使えるお店・スポットを検索できるウェブサイト
- ・サイトへの掲載費用が無料、店舗のPRが自由、府が店舗のPRを行う

大阪・関西万博のレガシーの継承

- ・万博は大阪府民がリユース容器を使用する契機になった
 - 会場内に給水スポットが設置、リユース容器を使うキッチンカー
 - 大阪府のイベントでもリユース容器の利用を促進したい



03-5. 大阪府の取り組み

おおさかマイボトルパートナーズ

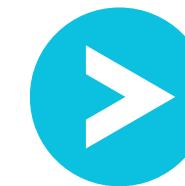
※大阪府「おおさかマイボトルパートナーズ会議」より

- ・マイボトルの利用啓発、**給水スポットの普及**、情報発信など
- ・パートナーズメンバー数:17→**87団体**(2025.10/24時点)
- ・府内のマイボトルスポット数:**5,357スポット**(2025.1月時点)
- ・聞き取り調査先:大阪府(事務局)、(株)ダイオーズジャパン(事業者)、東大阪市(行政)
(大阪市水道局(水道事業者)、阪大マイボトル推進プロジェクト(団体)については、実施状況を調査)



- ▶ 給水スポットは増加しているが、マイボトル保有率は横ばい
- ▶ 給水スポットの利用率を上げる仕組み作りが必要

03-6. 東大阪市の取り組み



質的調査(聞き取り調査): 行政 東大阪市環境部循環社会推進課

- ・東大阪市内に工場を構える(株)ダイオーズジャパンとマイボトル利用の促進に向けた連携と協力に関する協定を締結
- ・給水機のニーズに対して増設することが正解ではない
→ **自動販売機の売り上げ減少に繋がる恐れがある**

給水スポット普及の課題

- ・飲み残しを捨てるなど、マナー違反が目立つ
- ・いたずらの防止のため、公園への設置は難しい
- ・水筒に水を入れて利用する文化が普及していない



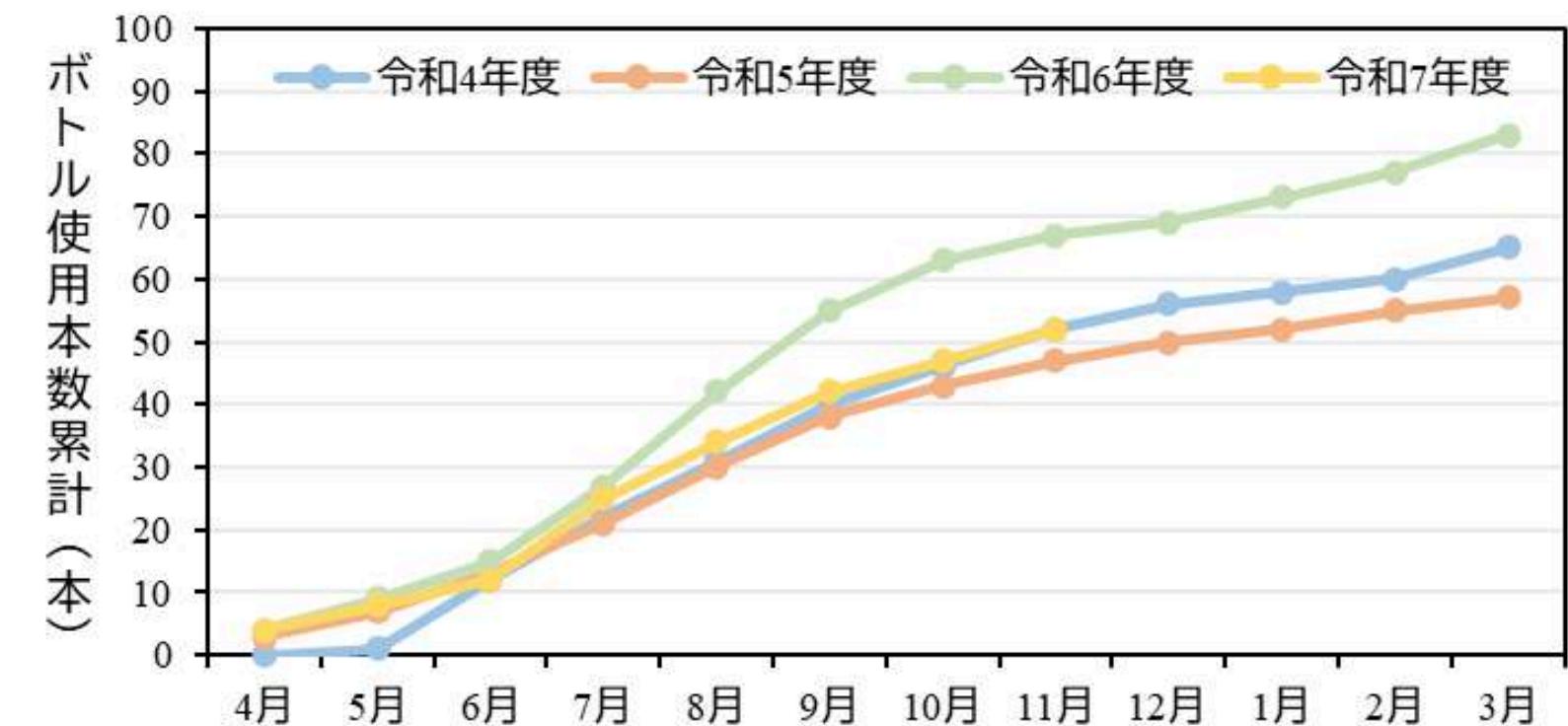
03-6. 東大阪市の取り組み

- ▶ 公共施設ならびに各リージョンセンターに設置
- ▶ 水道直結タイプとボトルタイプを併用
→ ボトルタイプは利用量を把握
- ▶ 東大阪市役所(ボトルタイプ)
 - 1F総合受付横(1台)
 - 令和4年度から設置

利用実績

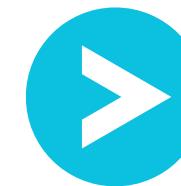
(19Lのボトルを交換)

東大阪市年度別給水ボトル使用本数の推移



※東大阪市環境部循環社会推進課より提供データより作成

03-7. 近畿大学の取り組み



質的調査(聞き取り調査):近畿大学

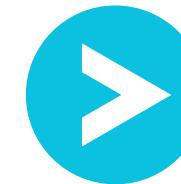
- 2024年4月～ 給水スポットの導入
- 2台(水道直結型:生活協同組合食堂、クラブセンター)、水素水の提供
→ 近畿大学学園学生健保共済会 → **健康増進**

給水スポット普及の課題

- 既存の施設に新たに設置する場合の工事費用
- 水道直結型にする場合の設置場所



03-8. 給水スポットの認知度・利用率

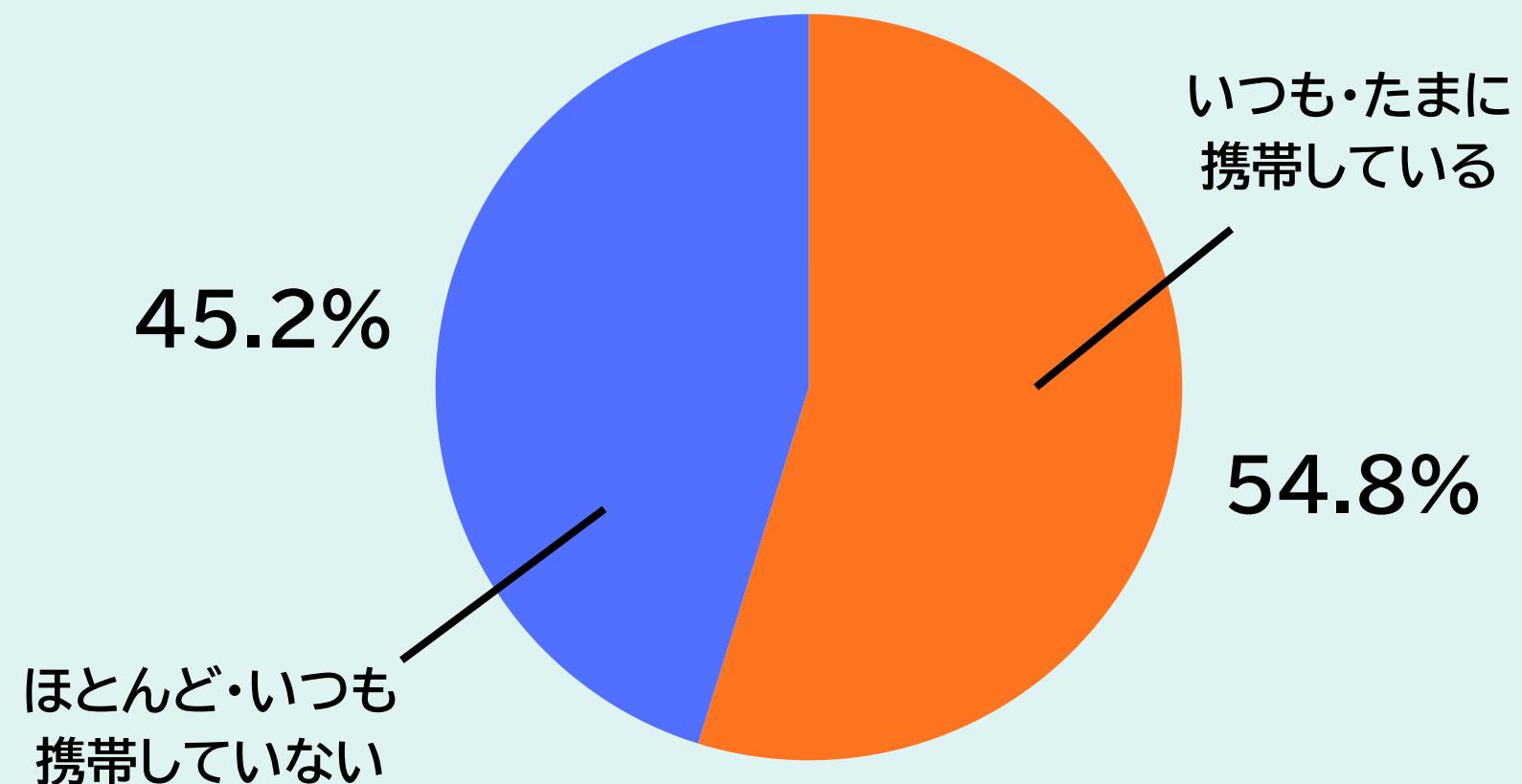


おおさかQネットアンケート調査結果

対象者: 18歳以上の大府民、1,000名

実施期間: 令和6年8月2日～8月4日

マイボトルの携帯割合について



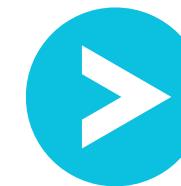
無料給水スポットの最適な設置場所は？

- ① 職場・学校(36.5%)
- ② ショッピングモール・百貨店(34.2%)



無料の給水スポットを活用しない(34.6%)

03-8. 給水スポットの認知度・利用率



大学生アンケート調査結果

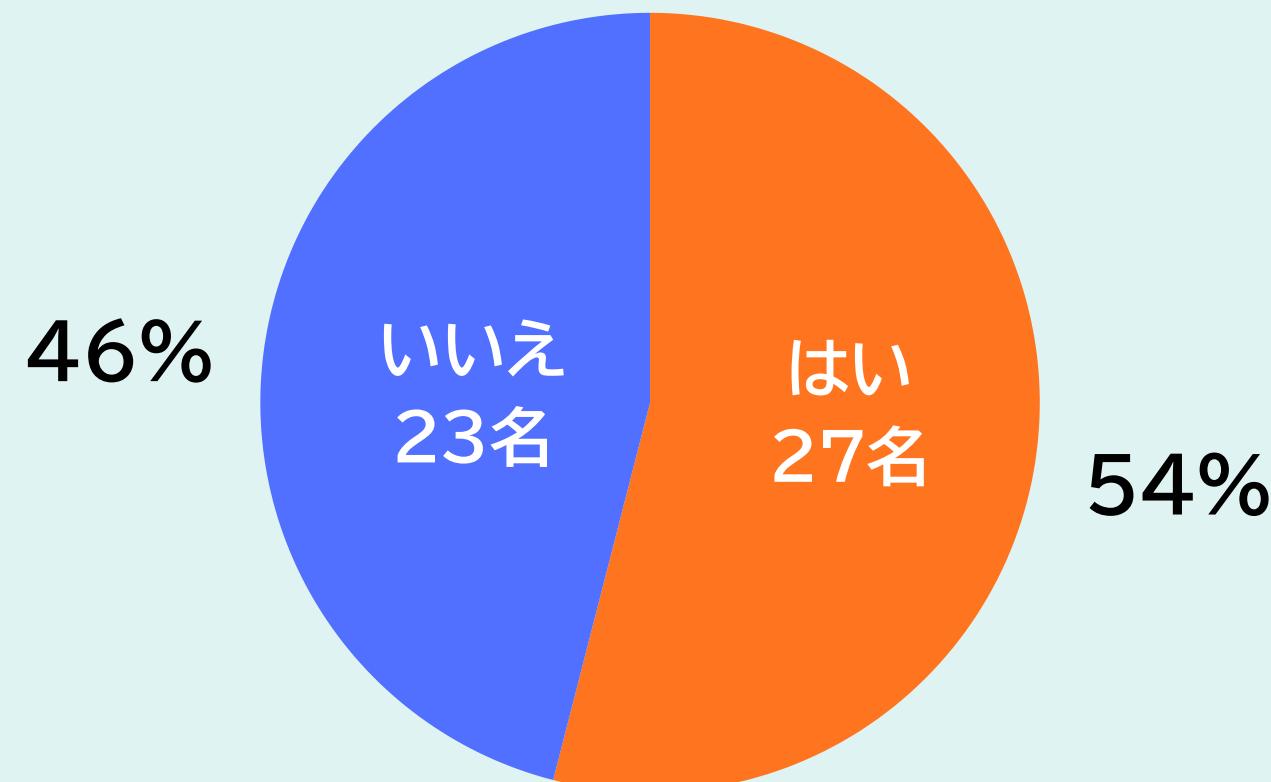
対象者: 近畿大学の学生および大学院生(18歳~28歳)、110名

実施期間: 令和7年11月25日~12月3日

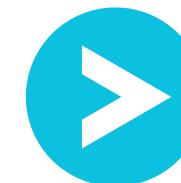
給水スポットの存在を知っていますか？



【はいと答えた方のうち50名】
給水スポットを利用したことはありますか？



03-8. 給水スポットの認知度・利用率



大学生アンケート調査結果

どこの給水スポットを利用しましたか？
【有効回答数:27名】

- ・ 万博会場…13名
- ・ 無印良品…5名
- ・ その他…5名
- ・ 近畿大学内…4名

Osakaほかさんマップ閲覧数上位スポット

- ① MUJI com阪急三番街
- ② 関西空港第1ターミナル1階出入口H付近
- ③ 無印良品 近鉄あべのハルカス
- ④ 豊中市庄内コラボセンター
- ⑤ 豊中市役所第二庁舎1階ロビー

※大阪府環境農林水産部循環型社会推進室資源循環課より提供

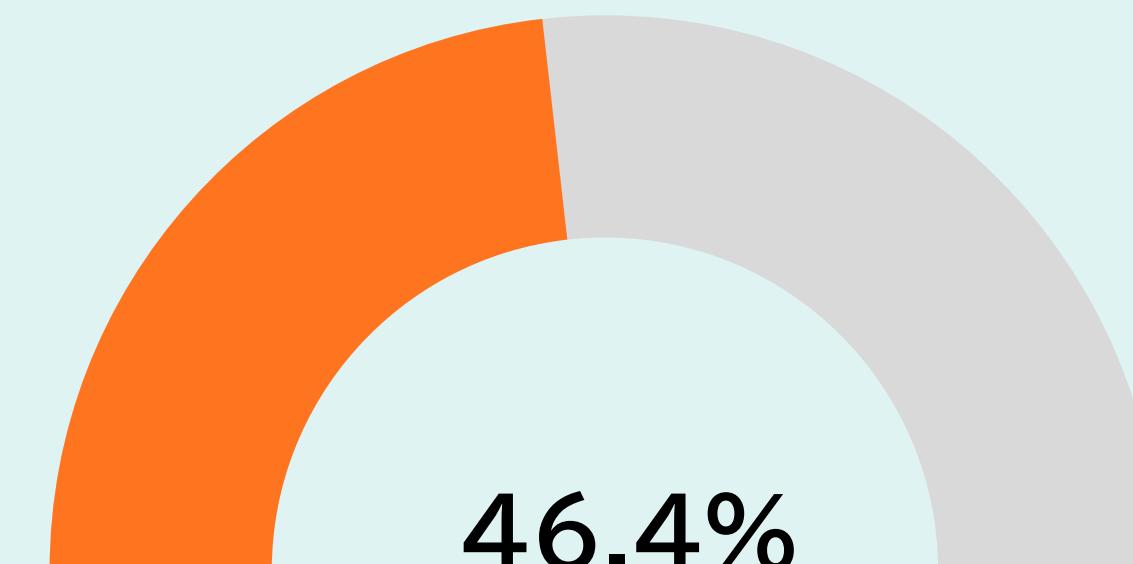
03-8. 給水スポットの認知度・利用率



大学生アンケート調査のまとめ

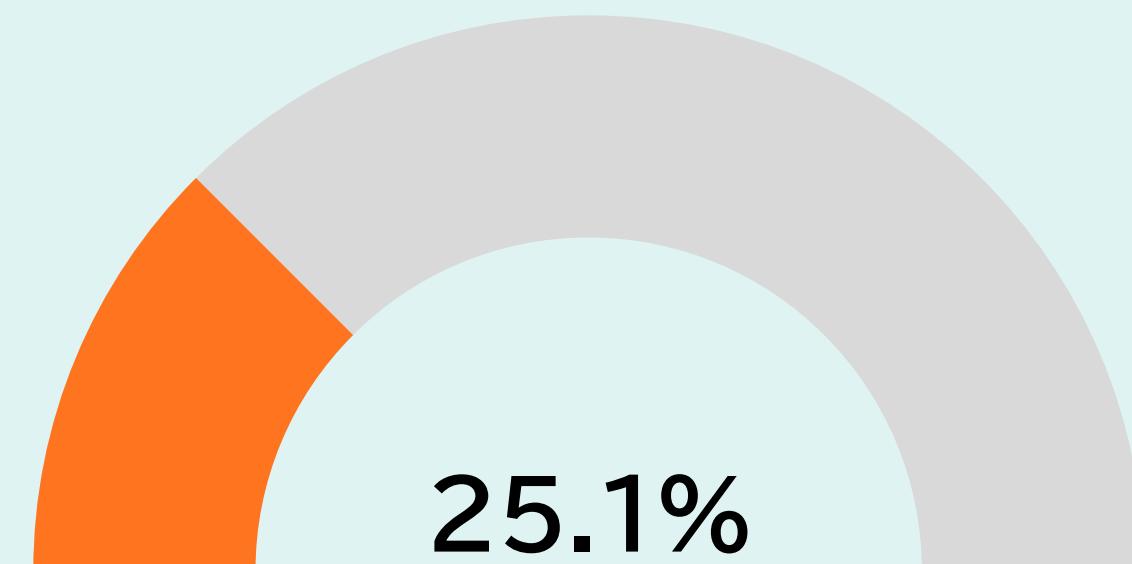
大学生・大学院生の認知度

▶ 110名中51名



大学生・大学院生の利用率

▶ 110名中27名



04

提案內容

~Proposals for the Research Presentation~

04-1. 提案内容①

給水スポットの増加

- 給水スポットを増やす
(給水機の増設)
- マップの利便性向上
- 民間店舗との連携拡大

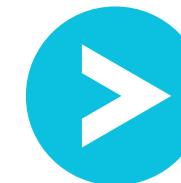
いつでもどこでも

- 誰でも気軽に利用できる
- 熱中症予防と災害時の備え
- マイボトル携帯の習慣化

安心・安全なまちへ

- 暮らしやすさの促進
- 安全で住みやすいまちへ
- 脱プラスチックの促進
- 大阪・関西万博レガシーの継承

04-1. 提案内容①



設置場所候補の選定と普及方法

設置場所

- ① 公共施設
- ② 駅、バス停
- ③ 近畿大学内
- ④ グラングリーン大阪

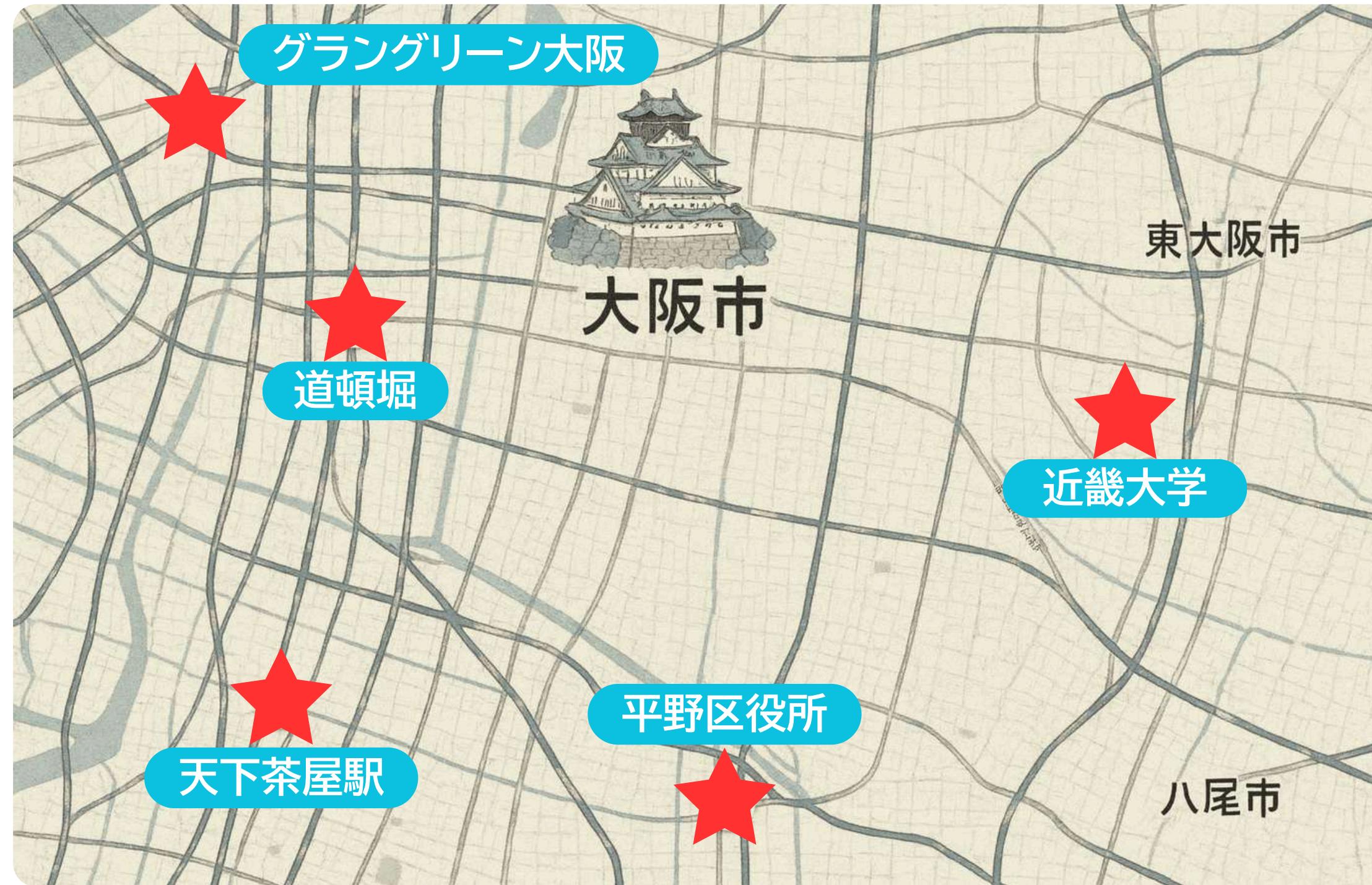


普及方法

- ① SNSでの発信
- ② ポスターによる啓発
- ③ 移動式給水スポットの
イベント参加
- ④ 人流の多い、目立つ
場所への設置

04-1. 提案内容①

▶ 設置場所: 人流の多い、給水スポット空白エリア



04-1. 提案内容①

実現可能性・資金調達方法



近畿大学

- ① 給水スポット増設について、所属学部導入について学生提案（2025年）
- ② 資金:大学資金を想定
- ③ 環境教育の充実、普及啓発活動、移動式給水スポットのデモなどにより、賛同を得ることができる

近畿大学以外

- ① 公共施設(天下茶屋駅、平野区役所)
 - 聞き取り調査によると「駅」での設置は難しい
 - 区役所は大阪ブルー・オーシャン・ビジョンなどの計画にも位置づけられているため、予算措置が認められれば、導入可能性は高い
 - 東大阪市の事例では、企業が地域貢献活動の一環として、給水機を寄付、行政は設置場所を提供している
- ② 商業施設(グラングリーン大阪、道頓堀)
 - 大阪府において、社会実験(道頓堀)は実施されているものの、導入に向けてはさらなる普及啓発活動が必要
 - グラングリーン大阪は、みどり(環境)を核としたまちづくりを展開しているため、一般社団法人うめきた MMO ("MIDORI" Management Organization)などを通じて、理解を広げ、より多くの賛同を得ることができれば、実現可能性の向上が期待される

04-2. 提案内容②

問題点

無料の給水スポットが普及することで
自動販売機の売り上げが減少する恐れがある

解決策

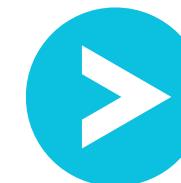
1. 相互誘導と情報提供

- ・給水機と自動販売機が相互に誘導し合うシステムをつくる

2. サービス提供の差別化

- ・無料の給水機では常温水を基本とし、有料の自動販売機では給水機にはない
冷たいor温かい飲み物やジュースを提供できることを明確に区別する

04-2. 提案内容②



新しい給水スポットの提案



ハイブリッド型給水スポット

特徴①

- ・自動販売機付きの給水機を設置し、目的に合わせた利用を促進する

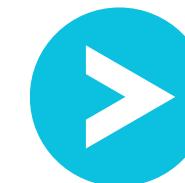
特徴②

- ・無料の給水機と自動販売機での商品購入利用のクロスセルを狙う

共存策

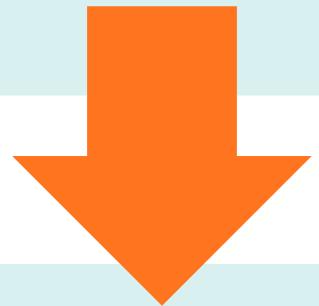
ハイブリッド型給水スポットにより、「マイボトルで水を得たい層」と「自動販売機の飲み物を手軽に買いたい層」に分けることで、どちらのニーズも満たすことができ、満足度と利益を維持することができる

04-2. 提案内容②



実現可能性・資金調達方法

大阪・関西万博にみる飲料メーカー等の協力体制
産学官民協働の「ものづくり」にむけて



組織と資金

行政支援によるコンソーシアムの立ち上げと活用

【参考】豊かな環境づくり大阪府民会議
→マイボトルパートナーズ会議

04-3. 提案内容③

大学生の認知度・利用の向上にむけて

- SNSの活用(給水スポット利用の積極的な発信)

ファンを増やす

環境教育の充実と普及啓発活動



行動変容をうながす

費用

安価

実現可能性

高い

05

まとめ

~Summary~

05-1. 給水スポット普及の効果

01

環境負荷の低減

地球温暖化:CO2削減

廃棄物:プラスチックごみ削減

02

非常時への備え

災害時の利用

(安心・安全な暮らしを支える
「ライフライン」の代替)

03

大阪府民の生活向上

経済的負担の低減

健康増進



ウェルビーイングの実現

04

行動変容をうながす

身近な水資源への関心

自分事として考えるきっかけ



環境に配慮したライフスタイルへ転換

05-2. 安心・安全なまちづくりにむけて

暮らしやすいまち大阪

自動販売機、マイボトル、
給水スポット…選択肢を増やし
非常時への備えがある
レジリエントなまちへ

大阪・関西万博レガシーの継承

持続可能なライフスタイルの推進
ウェルビーイングの実現
SDGs達成への貢献を
テーマに生活への定着を目指す

都市としての魅力向上

気候変動への対応や
プラスチックごみ削減だけでなく
給水スポットを通じた
安心・安全なまちづくり

オール大阪:産学官民協働

給水スポットの普及
↓
生活インフラの充実
ワクワクする大阪へ



「副首都・大阪PRキャラクター にゃにわ福まる」

05-3. SDGsとのかわり



※国際連合広報センター「SDGsのアイコン」より

調査協力先

- ・大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム様
- ・大阪府環境農林水産部循環型社会推進室資源循環課様
- ・大阪府環境農林水産部脱炭素・エネルギー政策課様
- ・東大阪市役所環境部循環社会推進課様
- ・株式会社ダイオーズジャパン様
- ・近畿大学学生部様

ご協力いただいた皆様ありがとうございました

参考文献

- 国連広報センター:「地球沸騰化の時代」の気候アクション,
<https://blog.unic.or.jp/entry/2023/08/25/103926>(2025-9-20)
- 気象庁:過去の気象データ検索, <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>(2025-9-12)
- 総務省消防庁:過去のデータ一覧(平成20年～令和6年)熱中症情報,
<https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post4.html>(2025-9-12)
- おおさか気候変動適応センター:大阪の将来の気候変化～21世紀末の猛暑日等の予測グラフ～,
<https://lccac-osaka.org/projections-highest-temperature>(2025-9-16)
- 大阪府:副首都ビジョンの推進,
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o010010/fukushutosuishin/fukusyutobijon/index.html>(2025-9-12)
- 一般社団法人Social Innovation Japan:mymizu日本初給水アプリ refill app and sustainability movement, <https://www.mymizu.co/>(2025-9-20)
- 環境省:第8回 グッドライフアワード 受賞者,
https://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/winner-vol8.html(2025-9-20)
- ウェザーニュース:マイボトルを繰り返し使うと、どれだけCO2排出量を削減できる?,
<https://weathernews.jp/s/topics/202312/040145/>(2025-11-7)

参考文献

- ・関西広域連合:マイボトルスポットMAP, <https://my-bottle.jp/search/index.php?area=3>(2025-9-17)
- ・阪大マイボトル推進プロジェクト Carry My Bottle:なぜマイボトル?, <https://carry-my-bottle.notion.site/Top-11ce79945ead80c28fe6f0c6ba91bd35>(2025-12-9)
- ・株式会社OSGコーポレーション:大阪・関西万博会場OSG給水スポットサイト, <https://www.osg-nandemonet.co.jp/expo2025/>(2025-9-19)
- ・大阪府:大阪マイボトルパートナーズ会議, https://www.pref.osaka.lg.jp/o120020/chikyukankyo/room/mybottle_meeting.html(2025-11-25)
- ・大阪府:「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画について, https://www.pref.osaka.lg.jp/o120020/eneseisaku/kannou_sdgs/blue-ocean-plan.html(2025-11-25)
- ・柴崎康成:給水機とマイボトルでつくる、未来につながるサステイナブルキャンパス, 大阪大学シンポジウム「SDGsの『学び』が世界を変える。—社会課題を『自分ごと』にする教育と実践(2025年12月4日開催), 報告資料
- ・瀬口亮子:「給水スポット」で環境負荷の低減と魅力的なまちづくりへ, 生活協同組合研究, 562巻, pp.53-58,2022

参考文献

- ・大阪府:マイボトルに関するアンケート, 大阪府政策マーケティング・リサーチ「おおさかQネット」(R6),
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o020040/kikaku/mr/oqnet2024.html#mybottle>(2025-12-2)
- ・東大阪市:マイボトルを活用して、使い捨てプラスチックの削減にトライ!,
<https://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000026186.html>(2025-11-25)
- ・東大阪市:令和4年5月30日 株式会社ダイオーズジャパンと連携協定を締結,
<https://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000033733.html>(2025-9-19)
- ・公益社団法人2025年日本国際博覧会協会:持続可能な大阪・関西万博開催に向けた行動計画
(開催後報告書)の方向性について, https://www.expo2025.or.jp/en/wp-content/uploads/sites/2/2025/10/250929_jizoku_file12-2.pdf(2025-12-1)
- ・松本青虎, 原田禎夫:コンジョイント分析を用いたマイボトル用給水スポットの経済的評価の研究, 第34回
廃棄物資源循環学会研究発表会, pp.21-22, 2023
- ・黄蔚軒, 浅利美鈴:大学生のマイボトルやペットボトル利用に関する意識・行動調査, 第31回廃棄物資源循環
学会研究発表会, pp.3-4, 2020
- ・ダイオーズジャパン:【ダイオーズ】2025.05.15-プレスリリース-東京都荒川区との連携協定締結のお知
らせ, 2025年5月15日 Press Release
- ・国際連合広報センター:SDGsのアイコン,
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/sdgs_icon/(2025-12-15)